詫間中学校
学校通信
浦島伝説
平成21年10月28日
第 23 号

あたりまえだけど、とても大切なこと

インフルエンザの影響で「学校閉鎖」になりました。生徒のいない学校はとても静まりかえっていました。あたりまえのことだけど、生徒がいるからこそ「学校」であることを実感しました。そして、あたりまえのことだけど、健康であることのすばらしさを実感することができました。

さて、Ｎｏ６(６月８日発行)で『詫間子ども宣言』を紹介しましたが、その中で「当たり前のことを当たり前にしよう」と呼びかけています。それと同じようなことが、もっと具体的に書かれている本があります。『あたりまえのことだけど、とても大切なこと　～子どものためのルールブック』(ロン・クラーク著、亀井よし子訳；2004年、草思社）です。その本の最初には、次のように書かれています。**「人間の生き方、他者との関わり方、人生の楽しみ方に関する、初めてのルール集。一見「そんなのあたりまえ！」と思う方もいるでしょうが、そのあたりまえのことを、多くの子が今、だれからも教わっていません。子どもに充実した人生を送ってほしいと願うすべての人のためのルールブックです」。**

さて、私たちのまわりにはたくさんのルールがあり、それを守ることによって、みんなが楽しく過ごすことができます。一番大きなルールは「日本国憲法」であり、身近なものには「校則」があります。また、最近では交通ルールについて何度も呼びかけています。右に紹介したルールは、本に書かれている５０のルールの中から選んだものですが、こんなことは、生徒手帳にも書かれていません。守ってあたりまえのことだからです。でも、このあたりまえのことを、いくつ守れているでしょうか。今一度、振り返ってみてください。

1　大人の質問には礼儀正しく答えよう
2　だれかがすばらしいことをしたら拍手をしよう
3　勝っても自慢しない、負けても怒ったりしない
4　口をふさいで咳やくしゃみをしよう
5　人の成績を言いふらさない
6　質問には完全な文章で答えよう
7　食べ物を欲張って取らない
8　次の人のためにドアを押さえていよう
9　お世話になった人にはお礼を言おう
10　もしもいじめられたら知らせてほしい

Ｑ＆Ａ　遅れた授業はどうなるの？

Ｑ１　学校閉鎖の影響で、ほぼ１週間分の授業がとんでしまいました。この遅れを取り戻すために、休みの日に登校して授業を行うなどの具体的な対応策はあるのですか？

Ａ１　もし休みの日に授業を行うとすれば、冬休みしかありません。しかし、今年は曜日の関係で、年内は１２月２８日だけしかありません。また、年が明けると、３年生は「第５回学習の診断」(１月５日)や私立高校の入試が控えているために、全学年そろって授業を行うことは難しい状況にあります。

そこで、週2時間(月曜日１校時・水曜日６校時)ある「総合的な学習の時間」を活用して計画的に授業を補充するとともに、毎時間の授業をより一層充実させてまいります。

Ｑ２　教科書の内容をすべて学習することができるのですか？

Ａ２　現在の学習指導要領では、標準授業時数として、年間９８０時間(週２８時間)が定められています。平成２４年度から完全実施となる新学習指導要領では、年間１０１５(週２９時間)となりますが、本校では、「確かな学力づくり」として授業時数の確保を最優先としているため、新学習指導要領への移行期間中である本年度、すでに週２９時間の授業を実施しています。そのため、現段階で３月末までを見通すと、教科書の内容を確実に学習することができます。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇　インフルエンザの感染防止について　◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

１０月３１日の開催が心配されていた合唱コンクールですが、インフルエンザによる欠席者が数名となり、今のところ予定通り実施できそうです。しかし、大勢の人が一堂に会するため、予断を許さない状況にあります。そこで、ご来場の皆様にはできるかぎりマスクを着用するようお願いします。インフルエンザ感染防止のため、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。